

慶應義塾に関連した出版物や教職員の新刊著書などを中心に、本に関する情報をお届けします。

あなたの人生を変える

「SFCビッグママ」の魔法の言葉

『今、ここを真剣に生きていますか？』

—— やりたいことを見つけないあなたへ ——

長谷部葉子（環境情報学部准教授）著  
講談社 / 1260円（2012年12月）



35歳で大学入学、40代で大学院を修了し現職に就くという異色の経歴を持つ著者が送る、「人生を”思いっきり生きる”ためのヒント集。

「生きる意味を考える前に、多くの人や問題とぶつかってください」「孤独は、自分をケアする時間」「自分の進むべき道を知りたい人ほど、いま居る場所のできることを徹底的にやりつくすべき」—— 学生たちから「迷いの森の出口を教えてください」魔法使い「SFCのビッグママ」と呼ばれ親しまれる著者からのメッセージは、時にやさしく、時に厳しく、私たちの胸に響く。悩み多き若者にはもちろん、日々奮闘しながら生きているすべての人に読んでもらいたい。

教職員執筆の新刊

●小林秀明（女子高等学校教諭）ほか著

『原子力災害からいのちを守る科学』岩波ジュニア新書 / 882円（2013年2月）

●萩原滋（名誉教授）編、李光鎬（文学部教授）ほか著

『テレビという記憶—テレビ視聴の社会史』新曜社 / 2730円（2013年2月）

●高草木光一（経済学部教授）編

『思想としての「医学概論」—いま「いのち」とどう向き合うか』岩波書店 / 4200円（2013年2月）

●井手秀樹（商学部教授）著

『次世代のエコカー「天然ガス自動車」—ポスト・フクシマの選択』エネルギーフォーラム新書 / 945円（2013年3月）

●清水唯一朗（総合政策学部准教授）著

『近代日本の官僚—維新官僚から学歴エリートへ』中公新書 / 966円（2013年4月）

●慶應義塾幼稚舎理科編

『慶應義塾幼稚舎の理科教育—直接経験と採集理科の100年』慶應義塾大学出版会 / 2100円（2013年5月）



慶應義塾この一冊

『近代日本と福澤諭吉』

小室正紀（経済学部教授）編著、西澤直子（福澤研究センター教授）、米山光儀（教職課程センター教授）、山内慶太（看護医療学部教授）、都倉武之（福澤研究センター准教授）、岩谷十郎（法学部教授）、平野隆（商学部教授）著  
慶應義塾大学出版会 / 2520円（2013年6月）



近代日本思想史上に燦然とそびえ立ち、今なお研究対象として取り上げられている福澤諭吉。本書では、「女性論」「家族論」「教育思想」「外交思想」「経済論」などのさまざまな切り口で、7人の専門家が福澤先生の生涯とその思想にアプローチ。多面的に検討することで、先生の思想の本質に迫る。全学部対象の「近代日本と福澤諭吉」という講義から生まれた、義塾オフィシャル「福澤諭吉の入門書」とも言える一冊である。